

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年10月14日

【評価実施概要】

事業所番号	1193300058
法人名	社会福祉法人一寿会
事業所名	グループホームひがしまつやま寿苑
所在地	〒355-0034 埼玉県東松山市柏崎628-1 (電話) 0493-26-1515

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年9月17日

【情報提供票より】(平成20年8月22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成19年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15人	常勤	10人, 非常勤 5人, 常勤換算 13.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り
	2階建ての2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	59,000 ~ 61,000円	その他の経費(月額)	23,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり 1,500 円				

(4) 利用者の概要(平成20年8月22日現在)

利用者人数	15 名	男性	4 名	女性	11 名
要介護1	4 名	要介護2	2 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80.7 歳	最低	68 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中川医院、福島医院、東松山医師会病院、山田歯科
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、東武東上線東松山駅よりバスに10分程乗りバス停から5分歩いた所にある。国道407号のバイパス沿いではあるが、たいへん静かな地域に立地している。当ホームは鉄筋コンクリート造りの建物で1階部分に小規模多機能型居宅介護事業所が併設され、2階部分がグループホームになっている。広いリビングを中心に左右対称の2ユニットで構成され、それぞれの特徴を出している。開設してからまだ1年も満たない施設であるが、東松山市の地域に根付いたケアを目指し取り組んでいる姿勢は、経験豊かな管理者の下スタッフから十分に汲み取ることができる。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 今回は初めての外部評価であるため、非該当。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 主なスタッフに評価項目に関する資料を配布し、職員間で話し合いながら評価の意義や問題点などを共有して取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議については、まだ開設1年目ということもあり、出席するメンバーの調整などに時間を要した。メンバーは自治会長、民生委員、家族代表、市担当職員、一寿会本部長、管理者、介護支援専門員で構成され、第1回目の会議を終えている。なお、年内には、第2回目の開催を予定している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 面会で来訪する家族とのコミュニケーションはとれており、必要に応じて電話等で連絡をとっている。今後は定期的な家族交流会を開催し、意見を聞いていく体制づくりを検討している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域活動への参加に努めている。また、地域の方から地元の野菜をいただいたり、ホームの行事に参加していただきながら交流を図っている。静かな住宅地にあるため、生活環境の良さを活かしながら、開設してまだ間もないにもかかわらず、地域に溶け込もうと努力している。

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体である法人に理念があり、開設時の運営方針は地域密着型を意識して作成されているが、グループホームひがしまつやま寿苑としての事業所独自の理念は、まだ作成されていない。	○	開設して1年が経とうとしているので、地域密着型サービスの役割を盛り込んだグループホーム独自の理念をつくりあげていかれることが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	母体である法人としての理念は、2か月に1度の職員全体会議で周知し共有するようにしており、理念についての話し合いの場をさらに設ける予定もある。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で行われる様々なイベントに参加するように努めている。また、地域の方から地元の野菜をいただいたり、夏祭りなどのホームの行事に参加していただいて交流を図り、生活環境の良さを活かしながら地域に溶け込むための取り組みをしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	初回の評価ということもあり、地域密着型サービス外部評価ガイドブックを活用し、主なスタッフにも配布し周知している。また、職員は自己評価及び外部評価の意義や問題点などについて話し合い共有しながら取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については、出席するメンバーの調整を経て1回目の会議を開催したところである。年内には、第2回目の開催を予定している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	場所が他市町村との境にあるため保険者が違う方からの利用申し込みもあり、入所にあたり市町村協議をした経緯がある。担当の介護支援専門員による届出や行事報告などで市役所を訪ねる機会があり、市役所からホームに見学に来ることもある。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	必要に応じて担当の介護支援専門員から家族への報告は行われている。また、面会も多く、家族等が訪れた時には声を掛け、話し合いの場を設けているが、定期的な報告をするには至っていない。	○	金銭管理とあわせて利用者の暮らしぶりも含めた定期的な報告を家族へ発信していくことが期待される。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議が軌道に乗っていないこともあり、個々の家族から意見を聞く機会はあるが、それらを十分に反映させることがまだできない状況である。今後は家族との交流会を設けて意見などを聞いていきたいという意向がある。	○	スタッフ、家族と共に協力して定期的な運営推進会議を開催できるように取り組むなど、表出された意見を反映させる仕組み作りに期待したい。家族との交流会については、ぜひ実現に向けた取り組みを期待したい。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	会議等を利用して職員から意見や要望を聞くなどして離職を抑え、利用者への影響がないように馴染みの関係づくりに努めている。チームケアが確立していくことで、利用者一人ひとりにケアプランを活かしながら統一された支援ができるように取り組んでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	担当職員を中心に身近な課題を取り上げた勉強会が行われており、外部研修にも交替で参加できるように配慮しているが、計画的な研修には至っていない。	○	職員全体での勉強会(委員会)などが立ち上がっているため、今後は職員の段階に応じた研修計画を作成し、取り組んでいくことが期待される。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームから見学に来所された時や行事案内等を持って事業所を訪れた際に話し合いを持ち、情報交換をしている。今後は市役所を中心にグループホーム連絡会ができる予定もある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>グループホーム利用についての説明をする際には、本人や家族等に話しを聞き、細かな配慮をしながら進めている。また、利用者に職員を覚えてもらうために、職員の制服を統一するなど、様々な取り組みを試みている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>様々な症状があらわれる中、その場しのぎではなくきちんと向き合うこと、専門医に診てもらいながら繰り返し相談していくなど、利用者のあり方や日常生活の過ごし方を見極めている。また、作業を共に行うなかで学ぶことも多く、互いに支えあう良好な関係を築いている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者一人ひとりの日常生活の言葉や行動から思いの把握に努め、本人の意向が反映された介護計画を活用しながら支援をしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日常生活の介護計画の支援経過を記入するようにしている。記入された内容については、カンファレンスやミーティングで話し合いを行い、本人や家族の意向を重視した介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者ごとに担当者が決まっており、3か月ごとに介護計画を立案するとともに、現状に即した見直しを行っている。また、状況が変化した際も家族等と話し合いを持ち、随時見直しを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設された小規模多機能型居宅介護事業所から入居に至った利用者もいる。また、家族の状況に応じて通院の付き添いをするなど柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地元の医院の先生による往診が月に2回ある。本人希望のかかりつけ医の受診については基本的に家族が行っているが、家族の状況によっては職員が支援することもある。かかりつけ医とは必要に応じて相談できる関係を築いている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に至ったケースはないが、日常生活の中で本人や家族の気持ちを汲み取りながら話し合いを行い支援していく方針である。	○	開設してから1年も経っておらず看取りはまだ行っていないが、これからの検討事項として、早い段階から本人や家族、かかりつけ医と話し合いを持ち、方針の統一を図って共有していくことが期待される。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを損ねることのないように、言葉かけや対応に配慮している。個人情報の取り扱いについては、職員全体での共通認識には至っていない。	○	職員全体で個人情報の取り扱いについての共通認識の徹底を図ることが望まれる。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大枠の日課はあるが、利用者一人ひとりの生活のペースに合わせ、思い思いに過ごせるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好きな物については重視している。食事形態については、本人の身体状態を考えて配慮している。また、準備や片付け等出来ることは利用者と共に行い、食事が楽しいものとなるように支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	特に入浴回数は決められていない。午後の時間帯を利用してゆったりとした本人本位の入浴が行われている。介助が必要な利用者の入浴については、職員の都合に合わせる傾向がある。		今後は介助が必要な利用者に対しても入浴が楽しいものとなるように、利用者のタイミングや希望に合わせた支援をしていくことが望まれる。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりに役割を見つけ、無理のない程度に力を活かしてもらい張り合いのある生活づくりに努めている。職員は、利用者には日々生き生きと生活して欲しいと願っており、今後はその実現に向けて取り組んでいこうと考えている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩を日課にしており、果物狩りなど外へ出かける機会を多くつくっている。また、散歩など外出することで、利用者が地域に溶け込み馴染んでいける環境を整えている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関の鍵は掛けることなくケアに取り組んでいる。また、職員は利用者を見守りながら安全に配慮して支援している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の防災・避難訓練を行っており、記録も残している。また、運営推進会議において地域の方に呼びかけ、協力が得られるように働きかけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事量及び水分摂取量を必要に応じて記録しており職員間で把握している。また、体調管理には徹底して注意を払っており、食事量、水分量の不足している利用者には摂取しやすいものを提供し支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	様々な場所に机や椅子が置かれており、利用者が思い思いに過ごせる工夫がされている。また、季節感を採り入れた飾り付けがさりげなくされており、居心地の良い空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染みの家具を自由に持ち込むことができ、本人の思い思いに工夫された居室になっている。		